PERSSON 470 class Japan Championships 2022

SAILING INSTRUCTIONS

Version 17 August 2022

Change Log

Amendment 01: 20.3.1 、20.3. 2 Change

Organising Authority (OA):日本 470 協会、佐賀県ヨット連盟

1. 規則

1.1. 本大会は『2021-2024 セーリング競技規則』（以下『規則』という）に定義された規則を適用する。

1.2. メダルレースは、(https://www.jsaf.or.jp/rule/pdf/AddendumQ_08March2021_EJ_20210806.pdf) World Sailing Addendum Q （2021 年 3 月 8 日版）対訳を使用する。SI に矛盾する場合は、World Sailing Addendum Q 英文を優先する。

1.3. SI は NoR よりも優先する。これは規則 63.7 を変更している。

1.4. 規則 70.5(a)に規定された通り、プロテスト委員会の判決を最終とする。

1.5. 規則 A6.1 を以下の通り変更する。
「ある艇が、コースの帆走をせず、それに応じて記録された場合、レースで失格とされた場合、またはフィニッシュ後リタイアした場合には、その艇の後にフィニッシュしたそれぞれの艇の順位を 1 つずつ繰り上げなければならない。」

1.6. 本大会に適用される全ての規則において、[SP] [NP]の表記は以下を意味する。

1.6.1. [SP]は、レース委員会が審問無しに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。

1.6.2. [NP]は、この規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは規則 60.1(a)を変更している。

2. [DP] [NP] 識別・カメラや電子機器

2.1. **[SP]**レース中の 2 日目以降それぞれの日に、その日の開始時点で大会順位の 1 位、2 位、3 位の艇の乗員はそれぞれ黄色、青色、赤色のビブを着用しなければならない。ビブは OA から配付される。

2.2. 艇は SI Addendum A の指示通り、バウナンバーを表示しなければならない。

2.3. 艇は OA により選択され支給された電子機器を艇の指定された位置に搭載するよう要求されることがある。艇はこの要求に従わなければならない

3. 帆走指示書の変更

3.1. レース日程の変更は、それが発効する前日の 20:00 までに掲示される。また、帆走指示書の変更は、それが発効する当日の 10:00 以前に掲示される。

3.2. レース・エリアは、D 旗が掲揚される 30 分前までに、または AP 旗が降下する 30 分前までに変更することができる。

4. コミュニケーション

4.1. 公式掲示板はオンラインのみとし、大会ウェブサイトで利用できる。
公式掲示板 URL：https://bit.ly/3JmsyyS

4.2. 競技者とのコミュニケーション
大会は、ソーシャルディスタンスを保つため可能な限り「LINE オープンチャット」で行うこととする。ブリーフィングは、「Zoom ミーティング」を使用して行うこともある。
（なお、LINE オープンチャットでの選手からの投稿は認めない）

4.3. 審問は、「Zoom ミーティング」を使用して行う。

4.4. 水上では、レース委員会は VHF 無線で競技者に連絡を行う。チャネルは 72ch とする。

4.5. 緊急の場合、またはレース委員会が提供する機器を用いることを除き、艇はレース中無線送信もすべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

5. 行動規範

5.1. [DP] 競技者および支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5.2. [DP] 高島定期船航路を横断する場合、レース委員会艇にて赤旗及び緑旗を掲揚する。艇は赤旗掲揚時には手前で待機し、緑旗掲揚した後航路を直角に横断する事が出来る。高島定期船航路及の位置と横断時詳細指示方法を SI Addendum B に示す。

5.3. [DP] 競技者および支援者は、主催団体によって提供された、装備の取扱いを、その使用に関する指示に従い、その機能を妨げることなく、実行しなければならない。

6. WEB 上に発せられる信号

6.1. 今大会は通常陸上で掲揚される信号は、大会 LINE オープンチャットに掲示される。
（画像または文字）

6.2. 信号がレース・エリアまたはフリート旗の上に表示される場合、それはそのレース・エリアまたはフリートにのみ適用する。 これは規則レース信号を変更している。

6.3. WEB 上に回答旗が掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1 分」を「40 分以降」と置き換える。

6.4. **[NP][DP]**WEB 上に掲揚された D 旗は、「予告信号は、D 旗掲揚後 40 分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

7. レガッタフォーマット

7.1. 全日本 470 級ヨット選手権大会は男女の区別をしない大会である。全日本女子 470 級ヨット選手権大会の成績は、全日本 470 級ヨット選手権大会の成績を流用し、女子選手の中で総合得点の少ない順で大会の順位付けを行う。

7.2. レガッタはオープニングシリーズとメダルレースで構成される。オープニングシリーズは、予選シリーズと決勝シリーズに分けられる。

7.3. **[SP]**本レガッタはフリート別のリボン配布は行わない。選手の責任で与えられたフリートを帆走すること。

7.4. 予選シリーズ

7.4.1. 5 レースが予定され、フリートに分けて行われる。

7.4.2. フリート全体をできる限り同数（同レベル）になるように Yellow、Blue に分ける。最初のレースのフリート分けは、日本 470 協会によって任命された委員会によって振り分ける。 また、最初に予定されたレースの日の 10：00 までに掲示される。

7.4.3. 大会初日に 1 レースしか完了していない場合を除き、各日のレース終了後、艇はシリーズの順位をもとに新たなフリートに分けられる。2 つのフリートが同じレース数完了していない場合は、同じレース数になった時点の順位でフリートに分けられる。フリート分けは次の通りとする。

順位	フリートの割り当て
1 位	*Yellow*
2 位	*Blue*
3 位	*Blue*
4 位	*Yellow*
5 位	*Yellow*
6 位	*Blue*
7 位	*Blue*
以下同様	

2 艇以上が同じ順位の場合、SI7.4.2 でのフリートの順に振り分けられる。

7.4.4. フリートは、まだ決定されていない抗議または救済の要求にかかわらず、各日 21:00 時点の順位をもとに割り当てられる。

7.4.5. 同日に 2 つのフリートのレース数が同じだけ完了していない場合、同じレース数になる様に、次の日もそのフリートでレースを続ける。全ての艇はその後に新しいフリート分けを行う。

7.5. 決勝シリーズ

7.5.1. 6 レースが予定される。

7.5.2. 予選シリーズの最終成績順にゴールド、シルバーフリートに分けられる。シルバーフリートは、出来る限りゴールドフリートと同数とし、ゴールドフリートよりも多くなることはない。 決勝シリーズの全てのレースは、予選シリーズでの上位艇からゴールドフリートとする。

7.5.3. 艇が決勝シリーズのフリートに割り当てられた後、救済判決により上位フリートに昇格させる可能性があることを除いて、予選シリーズ順位の再計算は行わない。

7.6. メダルレース

7.6.1. 決勝シリーズが 2 レース以上行われた場合に行う。

7.6.2. メダルレースには、オープニングシリーズの成績上位 10 艇が参加できる。

7.6.3. メダルレース当日の 09:00 における順位を以ってメダルレース参加艇を決定する。この時間の制限をプロテスト委員会は延長することが出来る。

7.7. メダルレースが行われる場合、ゴールドフリート（メダルレース出場チーム以外）とシルバーフリートによるラストレースが行われる場合がある。天候に応じて前日までに指示がある。

8. スケジュール

8.1. レース日程

日付		時刻
Day0 8 月 16 日（火）	受付登録、計測	1330 -1730
Day1 8 月 17 日（水）	受付登録、計測 開会式 予選シリーズ	0800 -1030 1100 最初の予告信号予定時刻 1300
Day2 8 月 18 日（木）	予選シリーズ	TBA
Day3 8 月 19 日（金）	予選シリーズ/決勝シリーズ	TBA
Day4 8 月 20 日（土）	予選シリーズ/決勝シリーズ	TBA
Day5 8 月 21 日（日）	予選シリーズ/決勝シリーズ メダル・レース /ラストレース 表彰式・閉会式	TBA

8.2. 1 日のレース数は最大 4 レースとする。

8.3. レース委員会の裁量により、予定された日に行われなかったレースは、翌日に行うことができる。

8.4. 引き続き行うレースのための予告信号は、できるだけ速やかに発せられる。

8.5. 最終日の予告信号は下記の時刻より後には発しない。

レース	時刻
メダル・レースの場合	1400
フリート・レース（メダル・レースが無い）の場合	1230

9. クラス旗

9.1. クラス旗及び、フリート旗は以下の通りとする。

Event	Fleet Insignia	Color or Background Color
予選シリーズ	Yellow	Yellow

予選シリーズ	Blue	Blue
決勝シリーズ	Gold	Yellow
決勝シリーズ	Silver	Blue
メダルレース	470	Pink

10. コース・エリア

コース・エリアの場所を SI Addendum C に示す。

11. コース

11.1. SI Addendum D の見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

11.2. コースの短縮は行わない。 これは規則 32 を変更している。

11.3. 予告信号以前もしくは同時にレース委員会信号艇に、選択されるコースを掲示する。また、最初のレグのおおよそのコンパス方位・距離を掲示する。

12. マーク

12.1. マーク、または関連したゲートマークは、次の通りとする。

Marks 1, 2, 3s,3p, 4s,4p	New Mark	Starting Line Mark	Inflatable Finishing Line Mark
赤色円錐台	緑色の円錐台	レース委員会艇	レース委員会艇 黄色の細い円筒形

12.2. スタートマークとフィニッシュ・マークはレース委員会艇か、インフレータブルマークである。

13. スタート

13.1. スタートラインは、レース委員会艇の「オレンジ色旗」を掲げたポールの間とする。

13.2. **[DP] [NP]**他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。また、回避エリアはスタートラインから 100m とする。

13.3. スタート信号の 4 分以降にスタートする艇は DNS と記録される。この項は規則 A5.1 及び A5.2 を変更している。

14. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a)新しいマークを設置するか、(b) フィニッシュ・ラインを動かすか、(c) 風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

15. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側の間とする。

16. ペナルティー方式

16.1. 規則 42 違反に対し、付則 P を適用する。

16.2. 付則 P2.2 は変更し、２回目以降のペナルティーに適用される。また、付則 P2.3 は適用されない。

17. タイムリミットと目標時間

17.1. タイムリミットと目標時間は次の通りとする。

Events		Time Limit	Mark 1 Time Limit	Finish Window	Target Time
フリートレース	予選シリーズ	75 分	20 分	10 分	35 分
	決勝シリーズ	75 分	25 分	7 分	45 分
メダルレース		30 分	10 分	5 分	25 分

17.2. マーク 1 のタイムリミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合には、レースは中止する。

17.3. 先頭艇フィニッシュ後、フィニッシュウインド内にフィニッシュしない艇は DNF と記載される。この項は規則 35 と A4、A5 を変更している。

17.4. 目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは規則 62.1(a)を変更している。

18. 審問の要求

18.1. 抗議または救済や審問再開の要求は下記 web サイトのオンラインフォーム "Hearing Request (抗議書（審問リクエスト）フォーム)" にて、適切な制限時間内に提出しなければならない。

18.2. それぞれのフリートに対して、抗議締切り時刻はその日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 70 分とする。

18.3. 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問のことを知らせるため、抗議締切り時刻後 15 分以内に通告を掲示する。審問は下記 URL の Zoom ミーティングルームにて、掲示された時刻に始められる。 URL: https://bit.ly/3JnFhkW

18.4. レース委員会、テクニカル委員会、またはプロテスト委員会による抗議を規則 61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。

18.5. 規則 42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストを掲示する。

18.6. 規則 64.4（b）に関する事項の「責任ある機関」は本大会のテクニカル委員会である。

18.7. 大会計測規定、クラスルールまたは [DP]および [SP]とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量でペナルィーが決定する。艇は、これらの違反に関する審問より前に、下記 web サイトのオンラインフォーム"Penalty reports　ペナルティー報告"に自ら違反したことを記入して提出することで、「スポーツマンシップと規則」に定められたスポーツマンシップの基本原則に従うことができる。

18.8. [SP]印の規則の違反は、レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる。これらの違反と関連するペナルティーのガイドラインは、公式掲示板に掲示され、得点記録の略語は STP とする。レース委員会は、ペナルティーが不適切であると考えたとき、艇を抗議することがある。この項は規則 60.1、63.1 および付則 A5 を変更している。

18.9. [NP]印の規則の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。この項は規則 60.1(a)を変更している。

18.10. 予選シリーズや決勝シリーズ最終日では、審問の再開を要求する場合、次の時間内に提出されなければならない。

a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には抗議締切り時刻内。
b) 要求する当事者がその当日に判決を通告された場合には通告された後 30 分以内。
この項は、規則 66 を変更している。

18.11. 予選シリーズや決勝シリーズの最終日、レースを行う最終日では、プロテスト委員会の判決に対する救済要求は判決の掲示から 30 分以内でなければならない。これは規則 62.2 を変更している。

19. 得点

19.1. 今大会は付則 A の低得点システムを適用し、メダルレースの得点は 2 倍とする。これは規則 A4.1 を変更している。

19.2. 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、下記 web サイトのオンラインフォーム“Scoring Inquiry（成績照会のフォーム）”にてレース委員会に提出する事で得点及び、成績の訂正を要請する事が出来る。

19.3. 予選シリーズ

19.3.1. 予選シリーズの成立には 4 レースを完了する事が必要である。

19.3.2. 予選シリーズの得点は決勝シリーズに持ち越される。

19.3.3. 予選シリーズの各フリート参加艇数は最も多い艇が所属するフリートの艇数とする。これは規則 A4.2 を変更している。

19.3.4. 予選シリーズの終了時に、フリートにより行われたレース数に違いがある場合、最新のレースの得点は除外され、すべての艇が同じレース数になるようにする。

19.4. 決勝シリーズとメダルレース

19.4.1. 決勝シリーズ 6 レースとメダルレースが行われる。

19.4.2. メダルレースを行うには、決勝シリーズにてゴールドフリートが少なくとも 2 レースを完了する必要がある。

19.4.3. 決勝シリーズのフリート（ゴールドフリート、シルバーフリート）は個別に記録され、レース数は異なる事がある。

19.4.4. 最終順位は、ゴールドフリートの参加艇、シルバーフリートの参加艇の順とする。

19.4.5. 決勝シリーズの各フリート参加艇数はそれぞれ所属するフリートの艇数とする。これは規則 A4.2 を変更している。

19.5. カットレース

19.5.1. 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。

19.5.2. 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

19.5.3. メダルレースの得点は除外出来ない。

19.6. メダルレース

19.6.1. メダルレースには、本レガッタの成績上位チームが参加できる。ただし、アンチ・ドーピング規程、賭け行為と腐敗防止規程、懲戒規程または規則 69 に基づき失格とされた艇は、メダルレースには参加できない。

19.6.2. 参加を認められた艇数をメダルレース参加艇数とする。これは規則 A4.2 を変更している。

19.6.3. メダルレースに参加を認められた艇の得点のタイは、規則 A8 を変更し、メダルレースの得点で解く。それでもタイが残っている場合には、決勝レースの得点を含め、規則 A8 に従ってタイを解く。

19.6.4. メダルレースに参加を認められた艇は、メダルレースにおいてスタートし、コースを帆走し、フィニッシュするために真に努力しなければならない。この指示の違反に対するペナルティーは、

その艇の順位を、メダルレースに参加を認められた艇の中で最下位とする。そのような艇が複数いた場合、オープニングシリーズの順位に基づいて 9 位・10 位から順に順位を与える。これは規則 A2 を変更している。

20. [DP] [NP]安全規定

20.1. **[SP]**本大会　選手、コーチ・サポーター、運営スタッフ、大会に関わる全ての者は、ハーバーに到着するまでに（毎朝 5：0 0～開始、9：45 終了）オンラインの感染症拡大防止のための調査を行わなければならない。

感染症拡大防止のための調査 URL： https://ws.formzu.net/dist/S50926092/

20.2. 本大会はチェックアウトチェックイン及び、DNC 報告、リタイア報告をオンラインで行う。

20.3. **[SP]** チェックアウトチェックイン

レース委員会は、大会 LINE オープンチャットに各申請フォームを毎日投稿する。

20.3.1. レースに参加しようとする競技者は、その日の予告信号時間 40 分前までに「**Check-out フォーム**」からセイルナンバーを選択し、送信しなければならない。また、レースに参加（出艇）しない艇及びサポートボートは、その日の予告信号時間 40 分前までに「**RET 報告フォーム**」からセイルナンバーを選択し、送信しなければならない。

20.3.2. 帰着した艇の艇長は、帰着後速やか（出来るだけ早い機会）に　また、その日の最終レース終了後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から 60 分以内に「**Check-in フォーム**」からセイルナンバーを選択し、送信しなければならない。

20.3.3. 海上でリタイアした艇は、実行可能であればレース・エリアを離れる前にレース委員会艇にその旨を伝えること。また、帰着後速やかに SI20.3.1 の「**RET 報告フォーム**」からセイルナンバーとリタイアレースを選択し、送信しなければならない。

20.3.4. 一度ハーバーに帰着した艇（SI20.3.3）及び、SI20.3.1 の **RET 報告**の手続きを行った艇が再度レースに参加しようとする（出艇する）場合、競技者は「**RET 報告フォーム**」からセイルナンバーと再出艇を選択し、送信しなければならない。

20.4. レース中でない艇は、レース中の艇から離れていなければならない。

20.5. レース委員会が F 旗を掲揚した場合、すべてのレース委員会艇とサポートボートは危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない。

21. [DP] 乗員の交代と装備の交換

21.1. 競技者の交代はレース委員会の書面による事前承認なしでは許可されない。また、レース公示の制限を遵守しなければならない。

21.2. 損傷または紛失した装備の交換はレース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の妥当な機会に下記 web サイトのオンラインフォーム”Equipment Substitution(装備品の交換)”にてテクニカル委員会に行われなければならない。

22. [DP] 装備と計測のチェック

22.1. 艇または装備は、クラス規則と帆走指示書に従っていることを確認する為、いつでも検査されることがある。

22.2. 水上で艇は、テクニカル委員会のメンバーにより、検査のために直ちに指定されたエリアに向かうことを指示された場合、従わなければならない。

23. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りである。

Boat	Flag description
レース委員会	白色旗
プロテスト委員会	ピンク色旗
メディア	白地に 黒色で "報"
テクニカル委員会	白地に黒色で "T"

24. 支援艇

24.1. 支援艇は、危険な状態にあるボートからの救助要請により救助を行うか、プロテスト委員会またはレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの 100m以上外側にいなければならない。

24.2. 支援艇は、密を避ける人数しか乗艇してはならない（6m 以下の場合、2～3 人)。

24.3. 支援艇は出艇から帰着するまでの間、常に OA が用意したピンクリボンを掲揚しなければならない。

25. ゴミの処分

ごみは支援艇またはレース委員会艇・プロテスト委員会艇に渡してもよい。

26. リスク・ステートメント

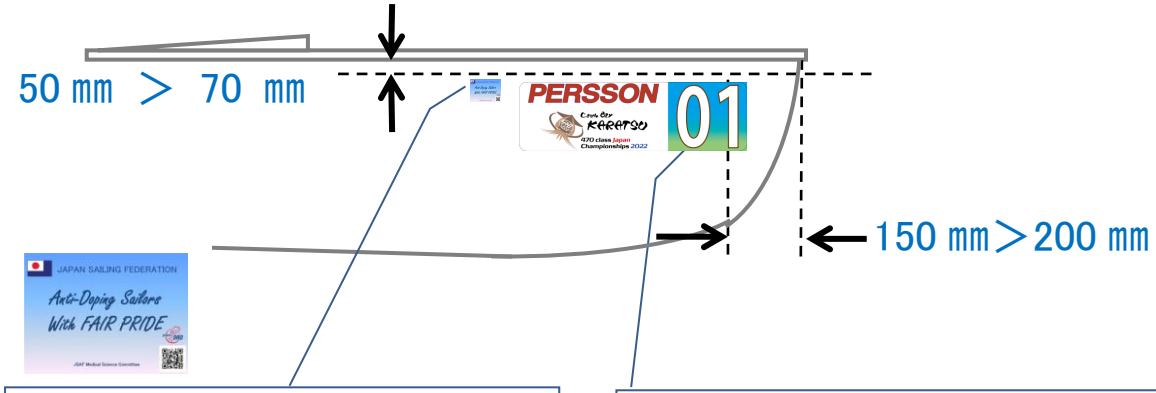
規則 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

27. [SP] トラッキングシステム

27.1. 準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置（スターボード側のスピンバケツ内。また、シートなどでしっかりと固定すること。）に搭載しなければならない。端末機器は、レース委員会の指示通り、返却しなければならない。 なお、トラッキングシステム端末機器受け渡し方法については、別途案内するものとする。

27.2. トラッキングシステムの端末機器の無線通信は SI4.5 違反にはならない。

SI Addendum A　BOW NUMMERS



ドーピングの啓発啓蒙活動の一環ステッカーは艇体バウのスターボード側の片面に指示通り貼付すること。

識別番号バウステッカーは艇体バウのスターボード側・ポート側の両面に指示通り貼付すること。

For the port side

For the starboard side

貼り付け上の注意

- 貼り付ける場所の汚れを十分落とし、アセトン、シンナー等で脱脂する。
- ステッカーは貼り直しがきかないので慎重に場所を決めること。
- 洗剤等を使用して貼付すると完全乾燥しない場合、波で剥がれる恐れがある。

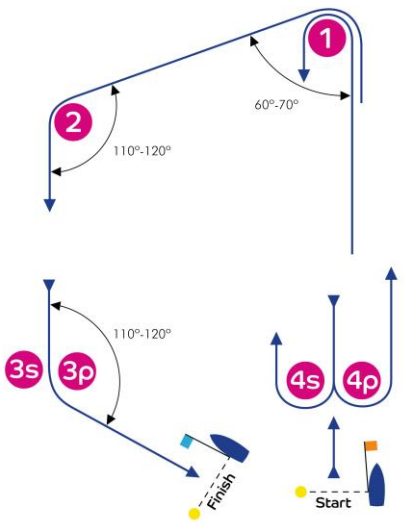
SI Addendum B　高島定期船航路　及び、危険区域

高島定期船航路（唐津城東寄りの松浦川河口と高島を結んだ航路）横断する場合、レース委員会艇 2 艇にて赤旗及び緑旗を掲揚し、通過可否の指示をする。赤旗掲揚時には手前で待機し、緑旗掲揚した後航路を直角に横断する事が出来る。また、ハーバー沖合の鳥島の東側は岩礁となっていますので接近しない様にしてください。センターボード等の破損する可能性があります。

SI Addendum C　COURSE AREAS

SI Addendum D COURSE ILLUSTRATION

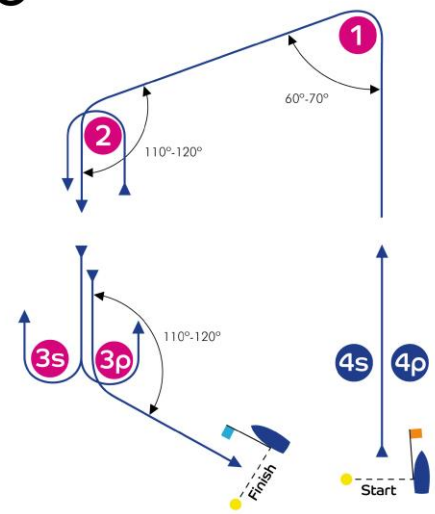
I



Course: Inner Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
I2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish
I4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 2 - 3p - Finish

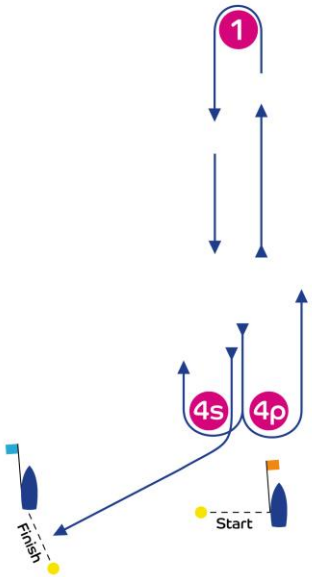
O



Course: Outer Trapezoid

Signal	Mark Rounding Order
O2	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O3	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish
O4	Start - 1 - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3s/3p - 2 - 3p - Finish

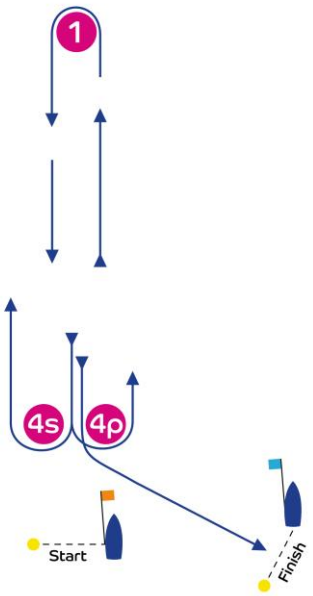
LG



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LG2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish
LG4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s - Finish

LR



Course: Windward/Leeward

Signal	Mark Rounding Order
LR2	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR3	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish
LR4	Start - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4s/4p - 1 - 4p - Finish